



情報基盤工学講座

助教
おお たい まもる
太 田 守
(1990生)

博士(工学)
(金沢大学・平 29)

■経 歴

富山高等専門学校電気工学科卒(平 23.3) 富山高等専門学校 専攻科エコーデザイン工学専攻機械・電気システム工学コース修了(平 25.3) 金沢大学大学院自然科学研究科電子情報科学専攻博士前期課程修了(平 26.9) 金沢大学大学院自然科学研究科電子情報科学専攻 博士後期課程修了(平 29.3) 福井県立大学非常勤講師(平 27.4 ~ 27.9) 日本学術振興会 特別研究員 DC1(平 27.4 ~ 29.3) 日本学術振興会 特別研究員 PD(平 29.4 ~ 30.3) 富山県立大学工学部助教(平 30.4 ~)

専門分野	情報工学 / 統計科学 / 計測工学
論文・報告	「統計的学習理論に基づく自然科学データ解析手法の開発および評価」(学位論文) 「ガンマ分布のベイズ推定における一般化逆ガウス分布と高階微分係数を用いた近似手法」(電子情報通信学会論文誌, 2014) 「A new method for direction finding based on Markov random field model」(Radio Science, 2015)
所属学会	電子情報通信学会(平 23.2 ~), 地球電磁気・地球惑星圏学会(平 25.11 ~) 日本地球惑星科学連合(平 27.5 ~) アメリカ地球物理学学会(平 28.12 ~)
学外活動	電子情報通信学会 北陸支部 優秀学生賞(平 23.3) 日本地球惑星科学連合 2016 年大会 学生優秀発表賞(平 28.5) 地球電磁気・地球惑星圏学会 第 140 回講演会 学生発表賞(オーロラメダル) 受賞(平 28.12) 金沢大学大学院 自然科学研究科長賞 受賞(平 29.3)

■現在の研究課題

1. 多種多様なビッグデータに対する統合解析技術の開発
最適化数理及び統計的学習理論を基盤として、多種多様なビッグデータを最大限に利活用するための知見創出アルゴリズムや効率的なデータ処理方法を開発する。
2. メソスケール降水現象の詳細解析と実問題への応用
近年頻発する集中豪雨や大雪等のメソスケール現象の理解を目指し、降水の地上観測データと気象リモートセンシングデータを統合的に扱い分析する。
また、降水粒子の電磁波散乱を詳細に解析し、現象を適切に数理モデリングすることによって降水強度の高精度推定と予測の実現を目指す。
3. ジオスペース(地球周辺の宇宙空間)のプラズマ空間分布推定
地球観測衛星や測位衛星による宇宙空間を利用した計測システムの安全かつ適切な運用を目的とし、科学衛星の観測データと数値シミュレーション結果からジオスペースのプラズマ空間分布を推定する技術の確立を目指す。

■共同研究キーワード

データサイエンス / ビッグデータ分析